

## 「原子力施設等から発生する廃棄物の処理処分と再利用」講演会開催のご案内

平成 31 年 4 月 19 日

いばらき成長産業振興協議会事務局

茨城県内では日本原子力発電株式会社の東海第一発電所に加え、日本原子力研究開発機構が所有する複数の原子力研究施設も廃止措置が決定しており、今後も長期間実施される原子力施設の廃止措置や廃炉作業を 1 つの中小企業参入ビジネスチャンスと捉えることができます。

廃止措置や廃炉作業では、コンクリートや鉄などからなる多量の廃棄物が発生します。発生する廃棄物のうち放射能濃度の高い放射性廃棄物についてはレベルに応じた地中処分が必要ですが、放射性廃棄物でない廃棄物や放射性物質として取り扱う必要のない放射能濃度が極めて低い（クリアランスレベル）廃棄物については再利用が可能です。

そこで、茨城県では、原子力施設の廃止措置に関心のある県内企業の皆様を対象に、廃止措置等で発生する廃棄物の安全規制状況や今後の展開ならびに参入可能性を探るため、ひたちなかテクノセンターにおいて下記のとおり「原子力施設等から発生する廃棄物の処理処分と再利用講演会」を開催します。

参加を希望する会員様におかれましては、別紙によりお申込みください。

### 記

- 1 日 時 平成 31 年(2019 年)5 月 22 日 (水) 13:30~15:40
- 2 場 所 (株) ひたちなかテクノセンター 3 階研修ホール (ひたちなか市新光町 3 8 番地)  
<http://www.htc.co.jp/>
- 3 主 催 いばらき成長産業振興協議会 (共催 県内中性子利用連絡協議会)
- 4 日程等  
13:30~13:40 開会・挨拶  
13:40~15:10 講演「原子力施設等から発生する廃棄物の処理処分と再利用」  
日本原子力研究開発機構 廃止措置推進室 嘱託 武部慎一 氏  
15:10~15:40 意見交換、質疑応答等  
15:40 閉会

#### 【講演者略歴】

武部慎一氏

1976 年に東海村の日本原子力研究所に入所後、環境中における放射性核種の吸着移行挙動等について試験研究を行ってきた。2011 年の東日本大震災/原子力災害による放射性降下物（フォールアウト核種）の環境中移行挙動、除染手法や再利用方法等、環境回復に向けた国や地方自治体等への支援協力を進め、国関連の各種委員会、勉強会、講演等を実施している。

- 5 参加費 無料
- 6 定 員 50 名 (先着順)
- 7 申込期限 平成 31 年(2019 年)5 月 16 日 (木) 午後 5 時まで

#### 問合せ先

(株)ひたちなかテクノセンター 栗原、大高

電話：029-264-2200 メール：kurihara@htc.co.jp ootaka@htc.co.jp

(別紙)

申込先：ひたちなかテクノセンター 栗原行き

(FAX：029-264-2203) (Eメール：kurihara@htc.co.jp)

**原子力施設等から発生する廃棄物の処理処分と再利用講演会  
参加申込書**

**(申込期限：5月16日(木))**

企業名・機関 \_\_\_\_\_ 住所： \_\_\_\_\_ 電話： \_\_\_\_\_

参加者氏名 (ふりがな)	部署・役職	連絡先Eメールアドレス

(留意事項)

- ・参加される方々の企業名・氏名・部署・役職を記載した名簿を各参加者及び県職員に配付など、講演会運営のために利用します。